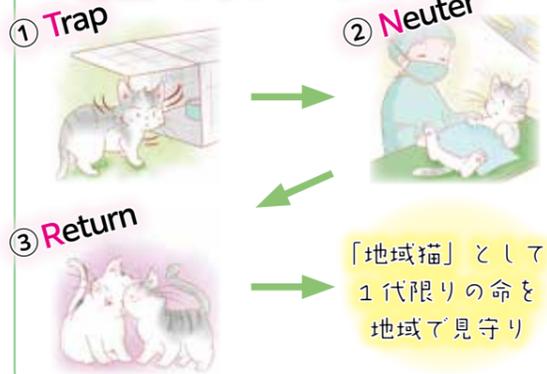


教えて高村さん!

TNR活動ってどんな活動ですか?

TNRは、Trap (捕獲)、Neuter (避妊・去勢)、Return (返す) の頭文字を取った活動です。野良猫を捕獲し、避妊・去勢手術を行い、地域に返すことで、不幸な猫が増えてしまうことを抑止し、人にも猫にも住みやすい地域をつくる活動です。

TNRのイメージ



どうしてTNR活動が必要なんですか?



猫は、生まれて4ヶ月から半年でこどもが産める体になります。また、1年間で多い時には3回妊娠・出産し、1回の出産で5・6匹の赤ちゃんを産みます。

一方で、猫にとって屋外の過酷な環境下にはリスクが多く、病気、交通事故などにより、生まれた赤ちゃんの多くが命を落としてしまいます。

また、TNRにより発情中の野良猫の増加を抑制する

ことで、猫の鳴き声や尿の匂いなどの生活被害を軽減し、住環境を改善することにも繋がります。

こうしたことから、TNRは近年、人も猫も不幸にさせないための取り組みとして環境省も推奨しており、全国的に注目されているんです。

猪名川町でも、令和6年11月から町を通じて「公益財団法人どうぶつ基金」が実施する「さくらねこ無料不妊手術事業」を利用し、無料で手術を受けることができるようになりました。

私たち地域住民にもできることがありますか?

1つ目は、野良猫は野生動物ではなく、人が作り出し、人に飼われながら生きてきた愛護動物であるということを知っていただきたいということです。このため、猫は生きるために、エサやりなど、人の支えが必要になります。

2つ目に、私たちに地域に住む野良猫のことを教えてほしいということです。野良猫にお困りの方はもちろん、手術が済んでいない猫がいる場合などには、農業環境課または、私たちにご連絡ください。困りごとやエサやりのマナー指導など、地域の方々と一緒に考えさせていただきます。

最後に、TNRにより地域に返された猫は目印として耳を桜の形にカットし、去勢・避妊が済んでいることがわかるようにしています。お住まいの地域でこのような猫がいる場合は、地域の環境問題として、マナーを守ったエサやりをしながら、懸命に生きる野良猫を、一代限りの命として、温かく見守っていただけたら大変うれしいです。



去勢・避妊済みの桜耳の猫



人と猫が住みやすいまち

皆さん、TNRという言葉を知っていますか?猪名川町では、不幸な猫ちゃんを減らすために野良猫の不妊手術を行い、猫の一代限りの命を見守る「TNR活動」に取り組んでいます。今号では、実施主体であるプロテクトあにまる「ねこ部」取材しました。

問合せ 農業環境課 (☎766-8709)

プロテクトあにまる「ねこ部」は、不幸な動物たちを減らし、いのちを大切にする、動物と人が共に幸せになれる社会になることを目指し、44名で活動しています。「ねこ部」という名前ですが、猫以外にも犬や鳥など様々な動物の相談も受け付けており、実際には、猫を含む全てのペットとの暮らしに関する相談なども受けています。

主な活動は、動物愛護のパネル展やチラシ配りなどの啓発活動のほか、警察や町なども連携し、野良猫のTNR活動や負傷動物の手当て、レスキューなど、メンバーそれぞれが「自分でできること」を考え、取り組んでいます。

ほかに、迷子探しのお手伝いやしつけの相談など、様々な活動を行っています。ペットのことはもちろん、動物に関する困りごとがあればと思います。



動物愛護ボランティア プロテクトあにまる「ねこ部」動物看護師 高村 友佳さん

編集後記
今回の取材を通して、野良猫のことを相談できる人たちがいることを初めて知りました。弱っている野良猫を見たときに「かわいそうだな」と思っていました。自分ではどうすることもできません。これからは一人で抱え込まずに、地域の問題として、みんなで考えられるようになりたいと思っています。

中津 めぐみ
上村 美穂

プロテクトあにまる「ねこ部」高村さん
☎090-9627-9740
✉pink.usagi.524@gmail.com
活動の様子はSNSなどでも配信!
QRコード



捨て猫などの保護活動



日生中央サピエでの啓発活動



保護猫の譲渡活動